

犬・猫飼い主のマナー向上アイデア募集について

(結果報告)

目的

近年、ペットは心の安らぎをもたらす家族の一員とされ、重要な存在になっています。また、ペットブーム等もあり、笛吹市内の犬登録数についても年々増加しておりますが、一方で、飼い主のマナーが悪いため犬の放し飼い、散歩中の糞の処理、鳴き声、猫の屋外飼養など、周囲に様々な迷惑を与え多数の苦情が市役所に寄せられております。



市では今年度、飼い主のマナーが少しでも改善できる方策・アイデアを市民の皆様から募集したところ以下のアイデアが寄せられました。

お寄せいただいたアイデア内容

市役所に寄せられている犬のマナーについて、具体的な苦情内容を広報で掲載し市民に呼びかける。また、各地域への回覧版による啓発や模範飼養者の紹介などを実施する。

各地域でのマナー講習会の開催（しつけ方教室など）

糞の被害多発地域での糞の片付けを呼びかけるのぼり旗の設置

遊休農地を活用したドッグランの設置を行い、飼い主同士の情報交換の場を提供

犬の放し飼いについて注意を呼びかける配布物作成

小学生に動物のマナーについての標語を募集、応募された標語の啓発看板やパネルを作成し、犬の散歩コースに設置

犬・猫の所管担当がごみ減量課内ではなく、特定外来動物も増えているため動物共生課など別の課を設置

観光客が訪れる笛吹市として、環境美化について更なる力を入れる必要があり犬の糞放置が多いため、ボランティアによるキャンペーンを開催し、しつけ指導や糞の除去など行う。

犬を飼い始めた市民を対象に年2回犬同伴の「パピー教室（1）」の開催

関係各所（図書館、市役所、警察署等）に犬猫の相談受付や相談BOXを設置し、市役所・動物愛護推進員・保健所の協力のもと定期的に回答を掲示する。

糞の放置等が多い散歩コースでのパトロール実施（市役所、保健所、動物愛護推進員、ボランティアによりローテーションを組む）

「糞は持ち帰りましょう。」看板のこまめな設置

小中学校先生から児童・生徒への啓発を依頼する。



(1)「パピー教室」

犬同伴で、飼い始めの小犬のころから適正飼養のアドバイスをする教室

基本的なしつけ（トイレトレーニング、社会環境、甘噛みの抑制など）



市ではお寄せいただいたアイデアを今後の施策として検討し実施する予定であります。多数のアイデアをいただきありがとうございました。